

	薬を飲ます		
11:35	食事の援助 (常時、おかわり、声かけ、スプーンの補助など)	子どもの援助しながら保育士も食事する(2分程度) 子どもがエプロン取るのでおしまいかと尋ねる 口元を拭く2人 食事を終えたい子どもにも一口食べさせようと傍で援助	
11:40	食事の援助 (常時、おかわり、声かけ、スプーンの補助など)	口元を拭く6人 口元を拭いたり、食器をまとめながらバジヤマの着替えを援助する	
11:45	食事の援助 途中、食事の終わった子のエプロンをはさずし、服を脱がす 汚れた床を拭く 食器を片付ける		
11:50	着替えコーナーで着替えの援助 適宜、オムツ交換	お茶をこぼした子どもの服を確認する。お茶は床と机の布巾を代えてふき取る。両方洗いにいく	
11:55	着替えの援助 泣いた子を抱っこしてあやす	着替えコーナーで援助開始する 7人 着替え中、口元に汚れがあるので、本人のおしぼりを取りにいき戻ってきて顔全体を拭く	
12:00	着替えの援助 電灯を消して部屋を暗くする	エプロンはずし子どもがまるめ、かごにいれさせる 食器片付けを個別整理する オムツ替え パンツ型5人 オムツ型2人(大便の始末) 保育士は手洗い2回する	
12:05	着替えの援助 既に横になっている子に布団をかける	着替えコーナーで着替えの援助	
12:10	電話。 既に横になっている子に布団をかける 大きな声を出している子に静かにするよう促す。 布団の上の子を布団に入れ、トントンスするなど、眠るよう促す。	着替えコーナーで着替えの援助	
12:15	4人の子に同時にトントンス 位置を変えて、3人の子にトントンス まだトントンスしてもらっていない子に「順番にトントンスするよ」と声かけする	着替えコーナーで着替えの援助 鼻汁を拭く	
12:20	子どもの位置を布団の中に戻して回る	鼻汁を拭く	

	位置を変えてトントン		午睡援助するA保育士のうたに合わせうたう 着替えない子に声をかける	
12:25	4人の子にトントン 途中で立ち上がり、別の子の布団をかけ直しに行く 眠らない子に声をかけ、眠った子にふとんをかける		鼻汁を拭く 保育士は手洗いをする 食器を片付ける 室外との往復5回	
12:30	位置を変えてトントン。		子どものズボンについてご飯粒をとる	
12:35	トントンを続ける 布団をかけ直す 記録簿を取りに行き、午睡しているところへ持っていく トントンしながら、記録をつける		脱いだままの衣類をたたみ周りを整える 子どもの傍で歌をうたいトントン小さな声で手遊びを する	
12:40	トントンを続ける くしゃみをした子の鼻を拭く 布団をかけ直す		電話対応。 寝つけない子の傍に移動し布団をかけなおす 首筋に手を当てて隣の子ともと比較している	
12:45	午睡の援助 (トントン、布団のかけ直し、子どもの位置直し等)		午睡の援助 換温しようする。	
12:50	午睡の援助		午睡の援助	
12:55	午睡の援助		午睡の援助 うつぶせの体制を仰向けに直す。2人 子どもはすぐうつぶせに戻る1人 Aは傍にいる	
13:00	食事の後の掃除 記録簿をつける 食事の後片付けで廊下に出るとともに、具合の悪そうな 子について主任保育士に連絡に行く		午睡の援助 首で発熱を感じた子について、保育士Aに相談する 主任保育士に相談する	

図表4-5 D保育園（2回目）の観察記録（全6ページ）

観察したクラス： 1歳児クラス
 児童の数： 10名
 保育士数： 2名（この2名を観察）

観察日時： 平成21年2月27日（金）【天候： 晴】
 9時05分～13時05分

	保育士A	保育士B
9:05	<p>親との対話 連絡帳の整理、他の部屋の保育士と打ち合わせ 子どもと一緒にブロック遊び</p>	<p>シーツをたたむ ブロック遊びの子どもと関わる シーツを棚に戻す いったん外に出て戻ってくる 連絡帳を確認 子どものロッカー（荷物等）の整理</p>
9:10	<p>子どもと一緒にブロック遊び（10人） 子どもの質問に答える</p>	<p>タオルを洗う 子どもに絵本を片付けるよう声かけをし、子どもと一緒に片付ける</p>
9:15	<p>子どもと一緒にブロック遊び（7人） 子ども同士のプロックの取り合いに対応 プロックの後片付けを子どもと始める</p>	<p>子ども1人と絵本を一緒に見る、近くに絵本を探す子どもがもう一人 近くにいた子どもを膝の上に抱っこ 本棚、仕切りを動かして環境構成を変える</p>
9:20	<p>プロックの後片付け 途中で一時的に一人を抱っこ</p>	<p>おやつ用のじゅうたんを敷く。子どもが2人来たので、子どもと一緒に敷く じゅうたんを敷きながらケンカした子どもを仲直りする。 テーブルの位置をおやつ用に移動する プロックの片付けに参加</p>
9:25	<p>プロックの後片付け 子どもと一緒にプロックの箱を保育室の外へ片付ける。 （子どもにも手を添えさせるため中腰で運ぶ。）</p>	<p>エプロンをとりにいく。子どもが4人着てきたので、子どもに持たせて、一緒に移動。 手洗場で子どもにも手洗をさせてエプロンをつける。 廊下の外に出た子を連れ戻す 子ども2人と一緒にテーブルを拭く</p>
9:30	<p>絵本の読み聞かせ（8人）</p>	
9:35	<p>絵本の読み聞かせ 絵本終了後、手洗を促し、手洗の補助へ</p>	<p>部屋を出る ミルクをもって戻る、着てきた子ども2人と話す おやつ準備（皿に配る、ミルク注ぎ） 電話</p>

9:40	手洗いの補助（顔まくり、手洗、拭く） エプロン 途中、別室の保育士と打ち合わせ 保育士Bと一緒に、朝の歌を歌う 落ち着かない子とところにいき、抱っこして歌う	手洗いの補助（顔まくり、手洗、拭く） エプロン 途中、別室の保育士と打ち合わせ 保育士Bと一緒に、朝の歌を歌う 落ち着かない子とところにいき、抱っこして歌う	自分も座って、子どもを座らせる おやつを食べる前に子どもに話しかける 手遊びをしながら歌う 皆で朝の歌を歌うように指示して、皆で歌う	
9:45	おやつ おやつの補助 アレギーの子の代替食を取りに行く メモ帳を取ってきて、保育士Bと打ち合わせする おやつを食べながら、随時、子どもの話を聞く	おやつの補助 アレギーの子の代替食を取りに行く メモ帳を取ってきて、保育士Bと打ち合わせする おやつを食べながら、随時、子どもの話を聞く	おやつの前を歌うように指示して、皆で歌う おやつを食べるのを見守る 他の保育士Aと打ち合わせ、オシボリをたたむ おかわりを注ぐ おかわりを注ぐ 子どもと話しながら、オシボリをたたむ	
9:50	おやつを食べながら子どもの話を聞く こぼれた床を拭く 遊びスペースに敷いてあった敷物を片付ける 戻ってきて再びおやつの補助（おかわり、食器の片付け、エプロンはずし等）	おやつを食べながら子どもの話を聞く こぼれた床を拭く 遊びスペースに敷いてあった敷物を片付ける 戻ってきて再びおやつの補助（おかわり、食器の片付け、エプロンはずし等）	子どもに話しかける おやつを食べ終わった子の食器を片付け始める おやつを食べ終わった子にオシボリを渡す、立てている子に座るよう促す エプロンをはずして子どもの顔をオシボリで拭いてやる	
9:55	おやつの後片付け（食器、テーブルの片付け） エプロンを片付けるのを手伝う （エプロンを袋に入れる、袋をロッカーに片付けるのと一緒に付いていく等） 最後まで食べていた子に話しかける。	おやつの後片付け（食器、テーブルの片付け） エプロンを片付けるのを手伝う （エプロンを袋に入れる、袋をロッカーに片付けるのと一緒に付いていく等） 最後まで食べていた子に話しかける。	子どもがエプロン等を片付けるのを手伝う 子どもと一緒に絵本を選ぶ、絵本にない絵を描くためにボードを取りに行く 子どもと一緒にじゅうたんの位置を動かす	
10:00	おやつの後片付け （食器を運ぶ、テーブルの片付け、敷物の掃除） エプロンを片付けるのを手伝う 片付けをしながら、保育士Bの保育の方を見る おやつの後片付け （敷物をたたんで片付ける、オシボリを洗う） ドライブごっここの保育に合流	おやつの後片付け （食器を運ぶ、テーブルの片付け、敷物の掃除） エプロンを片付けるのを手伝う 片付けをしながら、保育士Bの保育の方を見る おやつの後片付け （敷物をたたんで片付ける、オシボリを洗う） ドライブごっここの保育に合流	9人の子どもに話しかけながら、ボードに絵を描く （残りの1人はこの集団から離れたり近づいたり）	
10:05	音楽に合わせて、子どもと一緒に保育室を走り回る （時折子どもと手をつないで中腰で走る） 廊下にジュース缶を摸した筒を取りに行く 筒を取り出ししながら、色の話をする	音楽に合わせて保育室を走り回る （時折子どもと手をつないで中腰で走る） 廊下にジュース缶を摸した筒を取りに行く 筒を取り出ししながら、色の話をする	車の絵の話から、ドライブしようと言話を進める CDを探してかける	
10:10	音楽に合わせて保育室を走り回る （時折子どもと手をつないで中腰で走る） 廊下にジュース缶を摸した筒を取りに行く 筒を取り出ししながら、色の話をする	音楽に合わせて保育室を走り回る （時折子どもと手をつないで中腰で走る） 廊下にジュース缶を摸した筒を取りに行く 筒を取り出ししながら、色の話をする	音楽に合わせて保育室を走り回る 絵本の棚を動かすなど保育環境を変える、隅に止まっている子に声をかける 子どもと一緒に走りまわりながら、ときどき止まっている子に声をかける CDを止める、部屋の隅にいる子を抱っこする ジュース缶を摸した筒を取りに行く、色の問題を子ども	

10:15	もう一箱、ジュース缶を摸した筒を取りに行く。 (子どもも一緒に手をかけるため、中腰) 色のついた筒を使ってジュース遊び 家の棚を摸したダンボールを運んでくる。 ダンボールの中に入っている子どもたちに「家に入れて」とごっこ遊びを展開する	に出す 子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする (基本は見守りながら、近くに来た子に声をかける) 子どもの鼻を拭く
10:20	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする 泣いた子を抱っこしながら、子どもと聞わ 筒を高く積む	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする (基本は見守りながら、近くに来た子に声をかける)
10:25	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする 色を言いながら筒を並べる 色のついたお手玉のようなものを取り出し、筒の上に乗 つけて遊ぶ	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする
10:30	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする 筒をたくさん並べて、それをレールのようにまたいで遊 ぶ。線路は続く上の歌を歌いながら。	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする
10:35	筒を頭に乗つけて一緒にジュース遊びをする	子どもと話しながら一緒にジュース遊びをする
10:40	片付け用のケースを廊下にとりに行く 子どもと一緒に後片付け (色を指示しながら、色毎に片付ける)	子どもの遊びを見守りながら、タオルをしぼる タオルをしぼりながら、近くに来た子と話を 取り合いをしている子の仲蔵に入る、泣いた子を抱っこ 子どもに声をかけながら、後片付けを促す 子どもと一緒に片付ける
10:45	大きな筒(船)を運んでくる 船の上に子どもを乗せ、歌いながら、ユラユラ動かす 押し合っている子を調整する。 一人を抱っこ	泣いている子の手を引いて片付ける 次の遊び(船遊び)の指示を出す、ブロックの箱を廊下 へ運ぶ 船の上に子どもを乗せ、歌いながら、ユラユラ動かす
10:50	子どもと一緒に大きな筒を転がしながら、遊ぶ 大きな筒を子どもたちと皆で持って廊下に片付ける 紙芝居のため子どもたちを集める 手遊びをする	子どもと一緒に大きな筒を転がしながら、遊ぶ 大きな筒を子どもたちと皆で持って廊下に片付ける 食事前のマットや机を出して準備する
10:55	紙芝居(10人)	テーブルを布巾で拭く、布巾を洗う 絵本を読んでいるところと一緒に話をきく

11:00	紙芝居 紙芝居を片付ける 手洗いを促す	一瞬、廊下に出る 一人の子のオムツをチェック、手洗補助 手洗補助 手洗の終わった子にエプロンをつける	
11:05	子どもを集めて指人形で話をする 手洗の補助 泣いた子を抱っこしながら、手洗補助	手遊びをしている子のところへ行っ、エプロンをつける。 頭をぶつけた子に対応する テーブルの近くで子どもを見守る 一人を抱っこ	
11:10	座らない子を保育士Bの近くに座らせる 調理室へ食事を取りに行く(3往復) 1つのテーブルで配膳を始める	子どもを集めて、献立の話をしながら、3人以外は座らない 指人形を使って子どもに話しかける 試食、1つのテーブル(4人分)の配膳を始める	
11:15	子どもと話しながら、配膳を続ける	園のテーブルの配膳も手伝う	
11:20	いただきますをするよう子どもに話しかけ、皆で食事の歌を歌う。 エプロンがうまくついていない子を直す 葉について他の保育士と確認 CDをかける 職員分の食事を取りに行く 着替えの場所作り(敷物を敷き、仕切りを運ぶ、着替え袋を出す)	皆で食事の歌、一人が食器を落としたので、代わりを用意する 子どもと話しながらオシボリをたたむ お代わりをつける	
11:25	着替えの場所作り 布団を敷く	自分もご飯を食べながら、子どもの食事を援助する	
11:30	布団を敷く 食事の補助(ご飯を食べやすいように集める、おかわり、こぼれたところを拭く)	自分もご飯を食べながら、子どもの食事を援助する	
11:35	食事の補助(おかわり) 途中、お茶がなくなり調理室に取りに行く	自分もご飯を食べながら、子どもの食事を援助する	
11:40	食事の補助(おかわり、スプーンで食べさせる) 食べ終わった食器を片付ける 口の周りを拭く	子どもにお茶を飲ませる、終わった子の着替え 一人のオムツを替える 一人にバジャマを着せ、布団に入れる 子どもの脱いだ服をたたみながら、子どもと話を	

11:45	服を脱がせてたたむ 食器の片付け 食器で遊んでいる子に注意 脱いだ服やオムツを袋に入れる手伝い	食事しながら、子どもの食事を見守る 食器の後片付け、おかわり マットを拭く、子どもの手や顔を拭く	
11:50	オムツを替える パジャマへの着替え	汚れた服を脱がせる 子どもの脱いだ服をたたむ 残っている子に、スプーンですくってご飯を食べさせる 子どもの手や顔を拭く、汚れた服を脱がせ、脱いだ服をたたむ	
11:55	布団の方で遊んでいる子を着替えコーナーに連れ戻す オムツを替える パジャマへの着替え	食器を片付ける 顔を打って、痛がっている子を抱っこして話しかける 抱っこをしながら、まだ食べてる子と話をす	
12:00	オムツを替える パジャマへの着替え	茶碗についてご飯をかき集めて、子どもに食べさせる 着替えが終わらずに走り回る子にまだ服を着ていない と注意する 手や顔を拭く、服を脱がせる。服をたたむ。 最後の子に、スプーンですくって食べさせる 着てきた子どもの服を脱がせる	
12:05	布団の方で遊んでいる子を着替えコーナーに連れ戻す パジャマへの着替え	食器を片付ける、マットを拭く。 最後の子に、まだ食べるか聞いかけて、食器を片付ける。 マットを拭く、服を脱がせて、たたむ 最後の子に話しかける 着替え途中の子に話しかける	
12:10	着替えの補助 寝ている子の位置を直す まだ食事をしている子の対応 口や手を拭き、エプロンをはずす 汚れた服を脱がす 食器の片付け	最後の子とごちそうさまをし、食器をすべて片付ける 大便をした子のおむつをかえる、パジャマを着せる 大声を出す子に静かにするように言う 汚れた床を拭く	
12:15	食器の片付け（廊下へ運び出す）2回往復 カーテンを閉める 寝ている子2人にトントン	別の子のオムツを替える パジャマを着せる 別の子のオムツを替える、パジャマを着せる	

12:20	場所を変えて寝ている子にトントン 寝ている位置を直し、布団を直す		別のこのオムツを替える、パジャマを着せる	
12:25	場所を変えてトントン		歩き回っている子を抱っこして布団に導く 寝ないで絵本を見ている子に話しかける 寝ている子の布団を直す、両手で寝ている2人をトントンする 布団から起き上がった子を再度、寝転がせる トントンする	
12:30	トントンを続ける		トントンを続ける	
12:35	トントンを続ける		トントンを続ける	
12:40	寝ている子の位置と姿勢を直す 布団をかけ直す 記録簿を取りに行き、寝ている子の脇で記入		トントンを続ける	
12:45	寝ている子の脇で、午睡の状況の記録を続ける 記録簿を片付ける 食事のテーブルを拭く		トントンを続ける	
12:50	食事のテーブルとシートを拭く		トントンを続ける	
12:55	出でいた着替え袋をロッカーに片付ける 残飯等運び出す オムツの後始末 シートをたたむ テーブルを片付ける		トントンを続ける	
13:00	寝ている子の位置と姿勢を直す		トントンを続ける	

図表4-6 A保育園の保育士の活動分類

クラスの状況【児童の数15名； 保育士数3名】

	排 泄	清 潔	食 事 等	着 替 え	午 睡	掃 除	遊 び 等	親 と の 対 話	連 絡 帳 等	打 ち 合 せ 等	事 務	そ の 他
9:00			▲									
9:05	▲	○ ■	○▲■							○▲		
9:10	○▲	▲■	○ ■	○▲			○			○		
9:15		■	▲■	○▲			○ ■					
9:20				■			○▲■					■
9:25		▲					○▲■	■				
9:30							○▲■					
9:35							○▲■			○		
9:40	○ ■	■		■			○▲■	▲				
9:45	○						○▲■			○ ■		
9:50							○▲■					
9:55	▲	▲					○ ■	○				
10:00							○▲■			○		○
10:05		▲					○▲■			▲		
10:10		○					○▲■			○		
10:15		○					○▲■					
10:20	▲						○ ■					
10:25		○▲		○			■					
10:30				○▲			■					
10:35	○	○▲■		▲■			○ ■					
10:40		○▲■		▲■			○ ■			○		
10:45	■	▲		▲■		■	○▲			○		
10:50				■		■	○▲■			○ ■		
10:55							○▲■					
11:00		■	■				○▲					
11:05		■	■				○▲					
11:10		○▲	▲■				○					
11:15		▲	▲		■		○					
11:20		○	○▲■							○		
11:25		○▲	○▲■									
11:30	○	○▲■	▲■									
11:35	■	▲■	▲■	○▲■						○		
11:40	▲■	■		▲■	○							
11:45	▲	■	■	▲■	○							
11:50	▲	■	■	○▲■								
11:55		■		■	○▲■							
12:00	■			■	○▲							
12:05					○▲■	■						■

○は保育士A、▲は保育士B、■は保育士Cの活動をあらわす

図表4-7 B保育園の保育士の活動分類

クラスの状況【児童の数14名：保育士数3名】

	排 泄	清 潔	食 事 等	着 替 え	午 睡	掃 除	遊 び 等	親 と の 対 話	連 絡 帳 等	打 ち 合 せ 等	事 務	そ の 他
9:00	○						○	○				
9:05	■	○	■	○			○▲■					
9:10		○▲					○▲	○			○■	
9:15	○	○					○▲			○		
9:20	■	○					○▲■					
9:25		▲■	▲■				○▲					
9:30	■	■	▲			■	○▲■					
9:35		○▲	○■				○▲				■	
9:40			○▲■							■		▲
9:45		○	▲■			■				○		○▲
9:50		■	○▲			■	▲					▲
9:55						■	○▲■					
10:00		○					○▲■					
10:05				▲			○▲■					
10:10							○▲■					
10:15							○▲■					
10:20							○▲■					
10:25		▲					○▲■					
10:30							○▲■					
10:35		○▲					○▲■					
10:40							○▲■					
10:45							○▲				■	
10:50	▲	○▲	■				○▲■					
10:55	▲■	▲■		■			○					
11:00	○▲■	▲										
11:05	▲	▲	■	■		■	○					
11:10	▲	▲	▲	■			○▲					■
11:15			■				○▲					
11:20			■				○▲					
11:25			○▲■									
11:30			○▲■									▲
11:35			○▲■									
11:40			○▲■									
11:45			○▲■									
11:50	▲		▲■				○					
11:55	▲		○■	○								
12:00	▲	▲	○▲■									
12:05			▲		○					○■		○■
12:10			▲	■	○							
12:15	■	▲	▲		○					○▲■		
12:20		▲	▲	▲	○	■						
12:25	■		▲■	▲	○							
12:30		■	■	▲	○							
12:35				■	○▲							
12:40					○▲■							
12:45					○▲■	■						
12:50					○▲■	■						
12:55					○▲■	■		■				

○は保育士A、▲は保育士B、■は保育士Cをあらわす

図表4-8 C保育園の保育士の活動分類

クラスの状況【児童の数18名；保育士数5名】

	排 泄	清 潔	食 事 等	着 替 え	午 睡	掃 除	遊 び 等	親 と の 対 話	連 絡 帳 等	打 ち 合 せ 等	事 務	そ の 他
9:15		○▲	○▲									
9:20		○	○▲							○		
9:25		○	○▲							○▲		
9:30		○▲	○▲							▲		▲
9:35	▲	○					○▲					
9:40							○▲					
9:45							○▲			○		
9:50							○▲					
9:55							○▲					▲
10:00							○▲					
10:05							○▲					
10:10							○▲					
10:15							○▲					
10:20							○▲					
10:25							○▲					
10:30							○▲					
10:35							○▲					
10:40							○▲					
10:45							○▲			○		
10:50		▲	○▲									
10:55			○▲							▲		▲
11:00			○▲									
11:05			○▲									
11:10		▲	○▲									
11:15			○▲									
11:20		○	▲	○			○					
11:25		○	▲	○		▲						
11:30		▲				▲	○▲					
11:35		○▲					○▲					
11:40		○					○▲					▲
11:45	○	○					○▲			○▲		▲
11:50				▲			○▲					
11:55							○▲					▲
12:00					○▲		○▲					▲
12:05					○▲		▲					
12:10					○▲		▲					

○は保育士A、▲は保育士Bの活動をあらわす

図表4-9 D保育園(1回目)の保育士の活動分類

クラスの状況【児童の数13名；保育士数2名】

	排 世	清 潔	食 事 等	着 替 え	午 睡	掃 除	遊 び 等	親 と の 対 話	連 絡 帳 等	打 ち 合 せ 等	事 務	そ の 他
9:00							○▲					▲
9:05							○▲	▲		▲		○▲
9:10							○▲				▲	
9:15		▲	▲				○▲					
9:20		▲	▲				○▲					
9:25		○▲					○					
9:30		○▲	○▲				▲					○
9:35			○▲				○▲					▲
9:40		▲	○▲						○	○	○▲	
9:45	▲	○▲	○						▲			○
9:50		○	▲			▲	○					
9:55			▲				○					○
10:00				▲		▲	○					
10:05							○▲					
10:10			▲			▲	○					○▲
10:15		▲				○	○▲			○		
10:20							○▲					
10:25							○▲					
10:30		▲					○▲					
10:35							○▲					
10:40		○▲					○▲					
10:45							○▲					
10:50			▲				○▲					
10:55			▲				○					
11:00		○▲	○▲									
11:05			○▲									
11:10			○▲									
11:15			○▲									▲
11:20		○▲	○▲	○								
11:25			○▲		○				○			
11:30		○	○▲		○							○
11:35		▲	○▲									▲
11:40		▲	○	▲								
11:45		▲	○	○▲		○						
11:50	○			○		▲						
11:55		▲		○▲	○							
12:00	▲			○▲	○	▲						▲
12:05	▲			○▲	○	▲						
12:10	▲			▲	○	▲				○		○
12:15	▲	▲		▲	○							
12:20	▲	▲			○▲							
12:25	▲	▲	▲		○							
12:30		▲			○							
12:35				▲	○▲					○		
12:40		○			○▲							
12:45					○▲					▲		▲
12:50					○▲					▲		
12:55					○▲							

○は保育士A、▲は保育士Bの活動をあらわす

図表4-10 D保育園(2回目)の保育士の活動分類

クラスの状況【児童の数10名；保育士数2名】

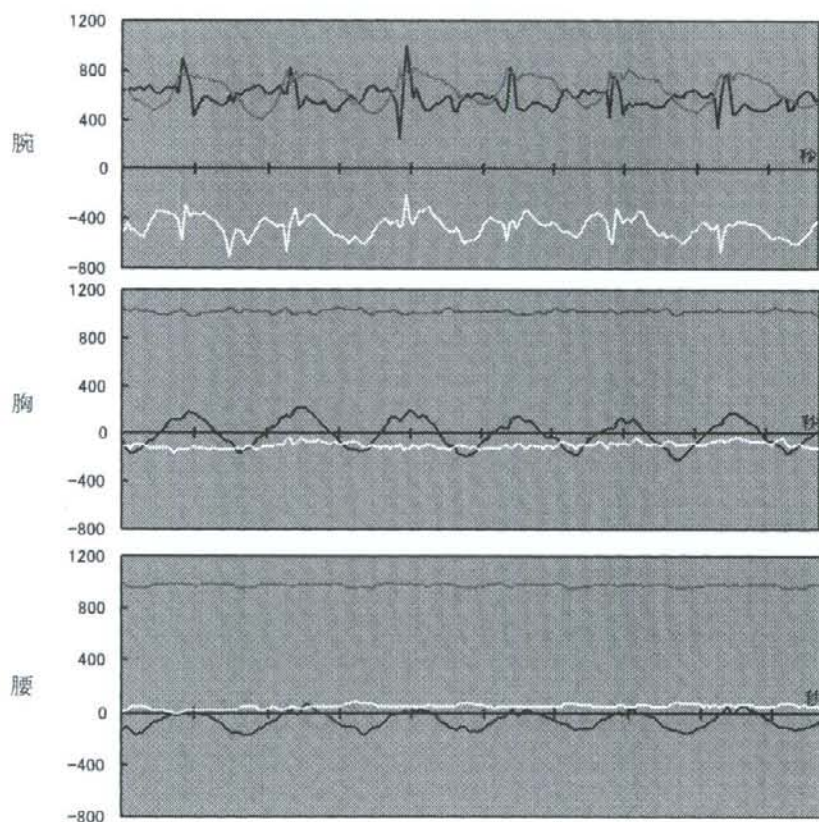
	排泄	清潔	食事等	着替え	午睡	掃除	遊び等	親との対話	連絡帳等	打ち合せ等	事務	その他
9:00												
9:05							○▲	○	○▲	○		▲
9:10		▲					○▲					
9:15							○▲					▲
9:20			▲				○▲					
9:25		▲	▲				○					
9:30			▲				○▲					▲
9:35		○	▲				○			▲		
9:40		○	○				▲			○		
9:45		▲	○▲				▲			▲		
9:50		▲	○▲			○						
9:55			○▲				▲					
10:00			○			○	○▲					
10:05						○	○▲					
10:10							○▲					
10:15							○▲					
10:20							○▲					
10:25							○▲					
10:30							○▲					
10:35		▲					○▲					
10:40							○▲					
10:45							○▲					
10:50			▲				○▲					
10:55			▲				○▲					
11:00	▲	○▲	▲				○					
11:05		○	▲				○▲					
11:10			○▲				○▲					
11:15			○▲									
11:20			○▲	○			○			○		
11:25				○	○							
11:30			○		○	○						
11:35			○									
11:40	▲	○	○	▲								
11:45			○	○▲								
11:50	○			○▲								
11:55	○			○▲								
12:00	○			○▲								
12:05				○▲								
12:10		○▲	○▲	○▲		▲						▲
12:15		○			○	▲						
12:20	▲				○▲							
12:25	▲				○▲							
12:30					○▲							
12:35					○▲							
12:40					○▲						○	
12:45					○▲	○					○	
12:50					▲	○						
12:55					▲	○						

○は保育士A、▲は保育士Bの活動をあらわす

図表 4-11 今回使用した加速度センサー (カタログより)



図表 4-12 午睡に関する援助時の加速度パターン



第5章 総合考察

第5章 総合考察

1. 本研究の結果のまとめ

本研究で得られた結果は次の5つである。

(1) 諸外国にみる様々な人的配置の基準

OECDによる”Starting Strong II Early Childhood Education and Care”(2006)と、UNICEFによる”Innocenti Research Center Report Card 8”(2008)に基づいて、OECD加盟国25か国の保育制度、とりわけ保育者と子ども比率および1グループあたりの最大子ども数についての規定を確認した。基準を設けていない国、州や地方ごとに統一基準を設定している国、推奨基準を設定している国がみられた。たとえば米国は州ごとに年齢別の比率の最低基準を設定していた。また米国を中心とした保育の質的研究では、構造的要因(家族構造、保育構造)と過程的要因(家族過程、保育課程)に分類して、人間関係のあり方の重要性も強調されていた。

これまで世界の保育の領域ではサービスの質を評価する国際的に通用する基準がなかった、としてUNICEFが提唱した10のベンチマークは意義深かった。保育の質を保証するためには、人的比率のみならず、政策として財政支援、保育者養成(年限など)、初等教育と連携をはかった資格取得、研修や教育のありかた、母親の労働条件の整備など、さまざまな規定(最低基準)が検討されねばならないことが明らかになった。

(2) 我が国の人的配置基準の歴史的背景

保育所の人的配置については、昭和23年に制定された「児童福祉施設最低基準」によって初めて法令上の位置付けがなされた。このときの保育士の配置基準は、厚生省の依頼を受けた日本社会事業協会が提言した最低基準案が基礎となっていたが、この案も、アメリカワシントン州の基準を参考にしたもので、必ずしも科学的、合理的根拠に基づくものとはいえなかった。さらに、厚生省は省令案の

作成にあたっては、当時の社会的、経済的事象に対応せざるを得ず、その後の国民経済の進展と国民生活の向上に照応して逐次定められていくものと捉えていた。

その後、経済成長とともに、保育の実践の場からの要望等と中央児童福祉審議会の答申・意見具申を受けて、配置基準は徐々に改善され、保育配置の最低基準は保育の質の維持と向上に大きな役割を果たしてきた。しかし、平成10年以降改善はなく、また規制緩和について中央児童福祉審議会での検討がなされない中で、常勤保育士(保育士)の解釈の変更等、最低基準の意義が低下しているという問題が示唆された。

(3) 保育士の仕事の多様性と複雑性

保育士の保育という業務は、養護と教育が一体となっていることがその基本である。養護といっても、食事や排泄、着替え、午睡などに関する援助や、保育室の清掃や環境調整など多岐にわたっていた。また、食事に関する援助一つを取り上げても、個々の援助や声かけなど直接子どもと関わる活動だけではなく、机や椅子の配置、調理室からの運搬、配膳、机・床の清掃など、直接子どもと関わらない活動も含まれていた。そのほか、保育の計画や評価、会議や研修、家庭や地域との連携、事務など、その内容は多岐にわたっていた。

実際の保育場面では、これらの多岐にわたった活動が、同時進行的に複雑に生じてくるのが一つの特徴であった。たとえば、ある保育所のある保育士は、わずか5分間に、「おやつや食器等を片付けて、子どもの排泄を促すためにトイレに誘うとともに、実際に排泄の援助をし、その子がズボンを自分ではけるように工夫をし、子どものペースでズボンはきの援助をし、5人の子どもを園庭に誘い、順次、靴を履く援助をする」(平成21年2月、1歳児クラスの保育観察による)というように、食事、排泄、着替え、遊びに関する援助

などを次々に遂行していた。

多様な子どもに対して、子ども一人ひとりに合わせた保育を実現するためには、さらにその業務は複雑なものとなることが示唆された。

(4) 保育士の数が保育へ及ぼす影響

子どもの行動に保育士の数が与える影響について、1歳児を担当する保育士は、今より保育士の数が減った場合、子どもは「食事を楽しむことができなくなる」、「睡眠など適切な休息がとれなくなる」、「清潔を保つ行動が減る」、「身体的活動がしにくい」、「聞く見る触れるなど感覚を使う機会が減る」、「情緒が不安定になる」、「機嫌が悪くなる」、「子どものかみつきが増える」と回答した。2歳児を担当する保育士も、同じ結果であった。

保育士の行動に対する影響について、1歳児を担当する保育士は、「健康状態の把握がしにくい」、「スキンシップをとりにくい」、「排泄の援助がしにくい」、「食事の援助がしにくい」、「着脱の援助がしにくい」、「遊びの援助がしにくい」、「言葉かけがしにくい」、「玩具・遊具など物的環境を管理しにくい」、「安全管理をしにくい」、「保育士のストレスがたまる」、「保育士が疲れやすくなる」、「保育士の口調が厳しくなる」、「保護者への対応がしにくい」などと答えた。2歳児を担当する保育士もほぼ同様の結果であった。このように保育士の数は保育に大きな影響を与える。

尚、1歳児を担当する保育士と2歳児を担当する保育士を比較すると、1歳児を担当する保育士の方が上記のように答えた者の割合が高かった。公立保育所の保育士と私立保育所の保育士を比較すると、公立保育所の保育士の方が上記のように答えた割合が高かった。ここでは保育がもつ条件によってその影響も一様でないことが明らかになった。

(5) 業務によって異なる必要な人的配置の基準

現状の保育（職員配置）体制において、保

育士不足を感じる保育業務について、1歳児を担当する保育士は、「食事（授乳を含む）の援助」、「排泄の援助」、「着脱の援助」、「午前の遊び」、「保育中の掃除・片づけ」をあげた。特に「食事（授乳を含む）の援助」は過半数、「排泄の援助」と「着脱の援助」も3分の1以上の保育士が、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた。2歳児を担当する保育士は、「食事（授乳を含む）の援助」、「着脱の援助」、「排泄の援助」、「午前の遊び」、「登園（所）時の子ども対応」をあげた。特に「食事（授乳を含む）の援助」は過半数、「着脱の援助」と「排泄の援助」も3分の1以上の保育士が、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた。

1歳児を担当する保育士と2歳児を担当する保育士を比較すると、1歳児を担当する保育士の方が、上記の業務について、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた割合が高かった。公立保育所の保育士と私立保育所の保育士を比較すると、公立保育所の保育士の方が、上記の業務について、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた割合が高かった。上記のとおり、おおよその保育業務において「もっと多いほうがよい」と感じているが、ここでも保育の条件によってその数値（傾向）は同一ではないといえる。

2. 結果の意義

上記の結果には次の5つの意義がある。

(1) 人的配置基準を検討する最初のステップ

保育所が社会から期待される役割を確かに遂行するためには、人的環境のあり方をしっかり検討することが欠かせない作業であるといえよう。当該研究ではこの人的環境を人的配置特に保育士の配置（基準）に限定して考察している。人的配置を検討する必要性は常にある。保育所における保育士の配置数の決定には様々な要因が関係する。例えば、子ども

や親を取り巻く子育て状況（都市化、核家族化、少子化、価値観の多様化など）にもとづく保育所の果たすべき役割（保育ニーズ）、利用する子どもや保護者、地域の実態、保育所がもつ施設・設備などの物的環境、さらに保育に直接携わる保育士の個人的条件と保育者集団のあり方など、いろいろなものが要因として働く。このように保育を取り巻く背景が変化すれば、人的配置も検討せざるを得ない。

これらの要因に加えて、人的配置を検討するには、保育実践の場における保育業務内容（以下、業務内容という）の分析が不可欠である。本研究では、業務内容によって保育士の多忙さが異なること、また一方で保育士あるいは保育対象児の数が影響しやすい業務内容があることが明らかになった。

現行の人的配置の基準は、子どもの年齢のみをもとに構築されているが、これは子どもの年齢によってかかわり方が異なるという前提のもとにある。

本研究においては、したがって、子ども・親を取り巻く要因と業務内容の実態との両面からの分析・検討から人的配置を考えた。

改定保育所保育指針に記載されている保育士の業務内容を、本研究で用いたような方法で分析することにより、適切な人的配置の基準を検討するてがかりとすることができる。改定保育所保育指針は本年4月1日施行である。適切に業務内容が遂行されていることは、指導監査等で確認・指導するという手続きを経て社会的に保証されることになる。

（2）業務内容のプロセス評価の足がかり

業務内容を評価するためには、記録や行動レベルで判断する必要がある。これは目に見えるものを評価の材料とする必要があるからである。保育における業務内容の評価基準を考えるとときには、保育実践の「記録」が有効である。しかし、記録レベルの判断だけでは不十分である。なぜなら求められることは、実際のかかわりの実態であるからである。

本研究では、保育士の業務の流れを一定時間に区切って観察・記録、分析することで、その場面における保育士の行動の目的やかかわりの意図が推測可能であることが示唆された。本研究で用いたこの手法は、保育業務のプロセス評価の手段として利用できる。例えば、食事に対する援助などと業務を限定し、その間の子どもにかかわる保育士の行動を、一定時間ごとに区切って観察記録していくのである。この記録を評価材料とすることにより、保育士の子どもへのかかわりを判断することができる。

（3）業務内容に応じた養成・研修カリキュラムの構築

本研究では、主に子どもにかかわる保育士の業務内容が行動レベルで示された。この結果は、保育者養成カリキュラムを構築するのに役立つ。例えば、保育士には子どもがエプロンを着けるのを援助する場面があることが示されている。また工作で糊を手のひら全体につけている子がおり、その手を拭いたり、手洗いを援助したりしている場面が観察・記録されている。これらは保育士の業務内容としては不可欠かつ日常的なものであろう。本研究ではこうした様々な業務内容があることが明らかになった。

初任の保育士の場合、自分の担当するクラスの子どもの様子はわかっても、他の年齢のクラスの子どもについてはわからないであろう。本研究で明らかにしたように時系列で保育士の業務内容を記述した記録があれば、それを読むことで、たとえ初任の保育士であっても、様々な子どもに対応が可能になるであろう。本研究の手法は、保育士の現任訓練として研修を行う際に利用できる。さらに、こうした詳細な業務内容を明らかにすることは保育者養成のあり方にも示唆的である。

（4）保育士のあらゆる業務に対するマニュアル作り

本研究では主に子どもとのかかわりに焦点

を当てて保育士の業務内容を分析したが、保育士の業務には、もう一つ子育て支援という柱がある。もちろんこの柱の中にも様々な業務内容があるが、それぞれの業務内容について、本研究で作成したような業務記録ができれば、子育て支援も適切に実施することができるようになるであろう。

保育所保育指針には、行動レベルではなく、ねらいや内容、方針等のレベルで様々な業務が記されている。本研究で用いた方法は、業務内容を行動レベルに落とす手段として有効である。

(5) 保育士の業務遂行にかかるチェックリスト作り

業務内容を行動レベルに落としてマニュアルが作成されると、それをもとに望ましい行動を確認するチェックリストが作成できる。また、保育士の適当な数の検討を行うためのチェックリスト作成にも資する。この点が我々の研究の次年度の課題である。

3. 今後に向けての提言 ～結果の応用～

(1) 人的配置基準は当面、現行の基準のとおりとする。

保育士の配置基準についての議論が今日さかんになりつつあるが、例えば、その変更は、子どもの行動と保育士の行動に大きな影響を与えるはずである。保育指針の改定は、それを最低基準として位置づけたものである。したがって保育実践として定着してから具体的に配置基準の議論に取り組むべきである。

(2) 現行の人的配置のもとで、改定保育所保育指針に基づく業務内容の分析

本研究は、現行の人的配置基準のもとで、改定前の保育所保育指針に基づく業務内容の分析を行ったものである。平成 21 年 4 月 1 日から施行される改定保育所保育指針(告示)は、法的拘束力を持ち、保育士の業務内容を規定するものである。子育て支援なども、努力義務として位置づけられた。保育内容も一

層の充実がはかられているはずである。そこで、この新指針に基づく業務内容について、本研究と同様の分析が必要となる。こうした分析に基づいて、配置基準のあり方(是非論も含めて)をしっかりと議論すべきである。

(3) 業務内容のプロセス評価の基準を検討する

人的配置基準の(改定などの)議論の前に、保育の業務内容が適切に遂行されていることの保証が必要になる。改定保育所保育指針の下で、本研究のような分析に基づいて、これを保証するための基準作りが求められる。

(4) 保育士のあらゆる業務内容をマニュアル化する

業務内容の分析は、業務遂行のマニュアル作りを可能にする。このマニュアルができれば、いつ、どこの保育所であっても同じレベルの業務遂行が可能になる。

(5) 保育士の業務遂行にかかるチェックリストを作成する

プロセス評価基準やマニュアルから、保育士が業務内容を適切に遂行するにあたり留意すべき点が明らかになる。このような留意点に基づくチェックリスト作りは、より適切な業務遂行につながる。

(6) 業務内容に応じた養成・研修カリキュラムの構築する

業務内容が明確になれば、それに基づいて、養成や研修のカリキュラムを検討できる。必要な業務を適切に遂行できるカリキュラムが構築できる。

少子化社会に於ける保育環境のあり方に関する総合的研究
(H 一般政策-017)

主任研究者

民秋 言 白梅学園大学教授

分担研究者

西村 重稀 仁愛女子短期大学教授
高野 陽 東洋英和女学院大学教授
吉岡 眞知子 東大阪大学教授
成田 朋子 名古屋柳城短期大学教授
河野 利津子 比治山大学短期大学部教授
清水 益治 神戸女子大学准教授
佐藤 直之 京都女子大学短期大学部准教授
千葉 武夫 聖和大学短期大学部教授
森 俊之 仁愛大学准教授
川喜田昌代 玉城保育専門学校講師
鈴木 岩雄 名古屋芸術大学准教授
水上 彰子 富山福祉短期大学専任講師